

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 16-083

研究課題名	脳卒中の医療体制の整備のための研究
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	九州大学大学院医学研究院 脳神経外科飯原弘二教授が脳卒中の診療施設から提供される入院患者診療情報及び外来患者診療情報により、脳神経外科関連の OCD 10 コードに基づいて対象症例を絞り込んだ全国規模の大規模データベースを構築し、今後の脳卒中関連の研究等を活用するとともに、医療施設の負荷を押さえた方法で脳卒中症例データベース構築を継続していくものである。
利用または提供する情報の項目	DPC データ
対象者及び対象期間	DPC データの主傷病名・入院契機傷病名・最資源投入傷病名のいずれかに、脳梗塞・非外傷性脳内血腫・くも膜下出血を含む 18 歳以上の症例。平成 27 年 5 月から平成 28 年 3 月までの期間。
利用の範囲	新潟市民病院脳卒中科・脳神経外科と九州大学大学院医学研究院脳神経外科
試料・情報の管理について責任を有する者	研究代表者 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科教授 飯原弘二
問い合わせ先	新潟市民病院 脳卒中科 森田 健一 Tel 025-281-5151
共同臨床研究機関	九州大学大学院医学研究院 脳神経外科
備考	J-ASPECT Study レセプト等情報を用いた脳卒中救急疫学調査